



**29 馬場家住宅**  
【佐賀市柳町1-12】  
佐賀駅より徒歩15分 催事時のみ内部開放

幕末から明治初期にかけて、馬場家の祖先にあたり鍋島藩の藩医を務めた漢方医の高宗弘堂が居住し、この家で開業したと伝えられる。嘉永7年(1854)『佐嘉城下町竈帳』には、岡部奎之助組侍の古賀元恭が居住していたと記されている。18世紀末から19世紀初期の建築と推定され、表の腕木門も同時期のものと考えられる。表構えは他の町家と違って変わらないが、むしろ武家屋敷に近い間取りを示している。



**30 佐賀市歴史民俗館 旧古賀銀行**【佐賀市柳町2-9】

旧古賀銀行は両替商・古賀善平が明治18年に設立した銀行で、明治39年に現在地東寄りに本店が新築された。大正初期の大増築の際には、設計に佐賀市の建築家 舟木右馬之助が関わり、佐賀市における本格的洋風建築として貴重である。また、数度にわたって用途が変わったため、建物の中に改造の歴史を残している。石造りの帯をめぐらした煉瓦タイル張りという形式で建物の表面を飾るなど、近代建築が地方へと浸透していく過程を知る上でも貴重な歴史遺産である。

【関連施設】  
復元には、同じ舟木右馬之助が設計した旧古賀銀行神埼支店の建築構造を参照している。



**31 佐賀市歴史民俗館 旧古賀家**【佐賀市柳町3-15】

旧古賀銀行の初代頭取・古賀善平の住居で、銀行本店の東隣にある。江戸期以来、古賀家はこの地に屋敷を構えていたが、古賀銀行開業に先立つ明治17年、この住宅を建てたと伝えられる。周りに門と塀を巡らした白漆喰仕上げの近代和風住宅で、西隣の銀行本店と一体となって残される点に価値がある。黒漆喰仕上げの玄関や西側の煉瓦塀は大正期に改築されたとみられる。



**32 佐賀市歴史民俗館 旧牛島家**【佐賀市柳町4-9】

江戸期に町の姥役を務めた足軽高楊伊助が問屋業を営んでいた建物で、佐賀市朝日町(旧今宿町)にあった。建築年代は18世紀前期と考えられ、その後、明治後期に今の姿に整えられた。佐賀旧城下町域に残された町屋建築の中では最古とみられる。多くの改造を経ているとはいえ、江戸中期から明治期の佐賀の町屋建築の構成を知る資料としても貴重である。平成8年に現在地に移築復元された。



**33 佐賀市歴史民俗館 旧三省銀行**【佐賀市柳町3-12】

旧三省銀行の店舗として明治15年に建築され、その後、医院や住居として改造が加えられ利用されてきた建物である。伝統的町家建築の空間構成を銀行業務に対応させた草創期の銀行らしい建築構造等に特色があり、スケールの大きな吹抜けなどのおおらかな空間構成をはじめ、二階座敷を始めとする細部意匠、大胆な外見意匠などの建築的特徴を備え、明治前期の時代の息吹が感じられる銀行建築である。



**34 佐賀市歴史民俗館 旧福田家**【佐賀市松原4-3-15】

明治末期から大正・昭和期にかけて佐賀セメント、佐賀軌道会社の設立に尽力するなど佐賀を代表する事業家として活躍した福田慶四郎の居宅であった建物である。完成度の高い多様な接客空間の存在が特徴的で、屋敷地の構成をはじめ、設備、調度品も含めて当初の姿をよくとどめている。畳割は、佐賀間(6尺2寸)ではなく京間(6尺3寸)で計画されており、佐賀とは異なる伝統的建築様式の影響を受けた近代和風住宅である。



**38 山口亮一旧宅**  
【佐賀市与賀町1368】  
佐賀駅より南へ徒歩30分  
清和高校東交差点より西へ入る 入場料無料 駐車場あり  
TEL 0952-60-2978 月曜休館

主屋は、佐賀美術協会の創設者である山口亮一画伯(1880～1967)の養祖父にあたる梅堂が十代藩主鍋島直正公の御典医としての地位を得た天保期(1830～1843)に、白石の須古にあった建物を解体し、現在地に移築したと伝えられている。この旧宅は、山口画伯の創作活動の場として、また、洋画研究所を創出し後進の指導の場として、当時の佐賀の美術界の拠点であった。

**39 東与賀の干潟を望む シチメンソウ群生地**  
【佐賀市東与賀町大字田中、大字下古賀】  
佐賀駅より南へ車で30分



シチメンソウは、有明海沿岸、北九州市から大分県北部沿岸、朝鮮半島付近にのみ生育する希少植物であり、季節によって色が変化し、晩秋には干潟を真っ赤に染めることから「海の紅葉」とも呼ばれている。この東与賀海岸には、約1.6kmにわたるシチメンソウの群生地が広がっており、また、南は干潟や有明海から雲仙普賢岳、北には佐賀平野、その先に天山や脊振の山々も望むことができ、360度の広大な景観を眺望できる場所としても貴重である。  
地元有志の「シチメンソウを育てる会」を中心として、清掃活動や管理作業など、シチメンソウの保護育成を行っている。



**40 田中酒造合資会社 主屋・三号蔵**  
【佐賀市蓮池町大字小松338】  
佐賀市街より大川方面へ車で15分  
堂地交差点より南へ入る  
内部見学は要連絡  
TEL 0952-97-1111(田中酒造)

田中酒造は、有明海を介して盛んな交流が行われ、江戸時代には海産物や魚肥などの問屋や船小屋などが軒を並べた蓮池蒲田津に位置する。主屋は江戸後期の建築である軸組が残され、また三号蔵は明治前期の建築(推定)で、二階の大壁は軒裏まで白漆喰で塗り込められ、伝統的町屋建築の姿を示している。往時の蓮池蒲田津の繁栄を偲ばせる歴史的景観の核となる建築である。

